

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 目的（文部科学省のねらい）

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ ア、イのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

令和4年4月19日(火)

(3) 吉田町の実施学校数及び実施児童生徒数

ア 小学校

3校（住吉小学校・中央小学校・自彊小学校） 児童数 286人（第6学年）

イ 中学校

1校（吉田中学校） 生徒数 262人（第3学年）

(4) 調査内容

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

イ 質問紙調査

- （ア）児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
- （イ）学校に対する調査（指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等）

2 調査結果の概要

- (1) 県平均正答率との比較においては、小学校・中学校ともに、全教科の平均正答率が県平均を下回った。
- (2) 全国平均正答率との比較においては、中学校理科において、平均正答率が全国平均を上回った。
- (3) 一人一台端末をはじめとしたICT機器の活用状況が全国平均及び県平均に比べてかなり進んでいる。

3 今後の取組

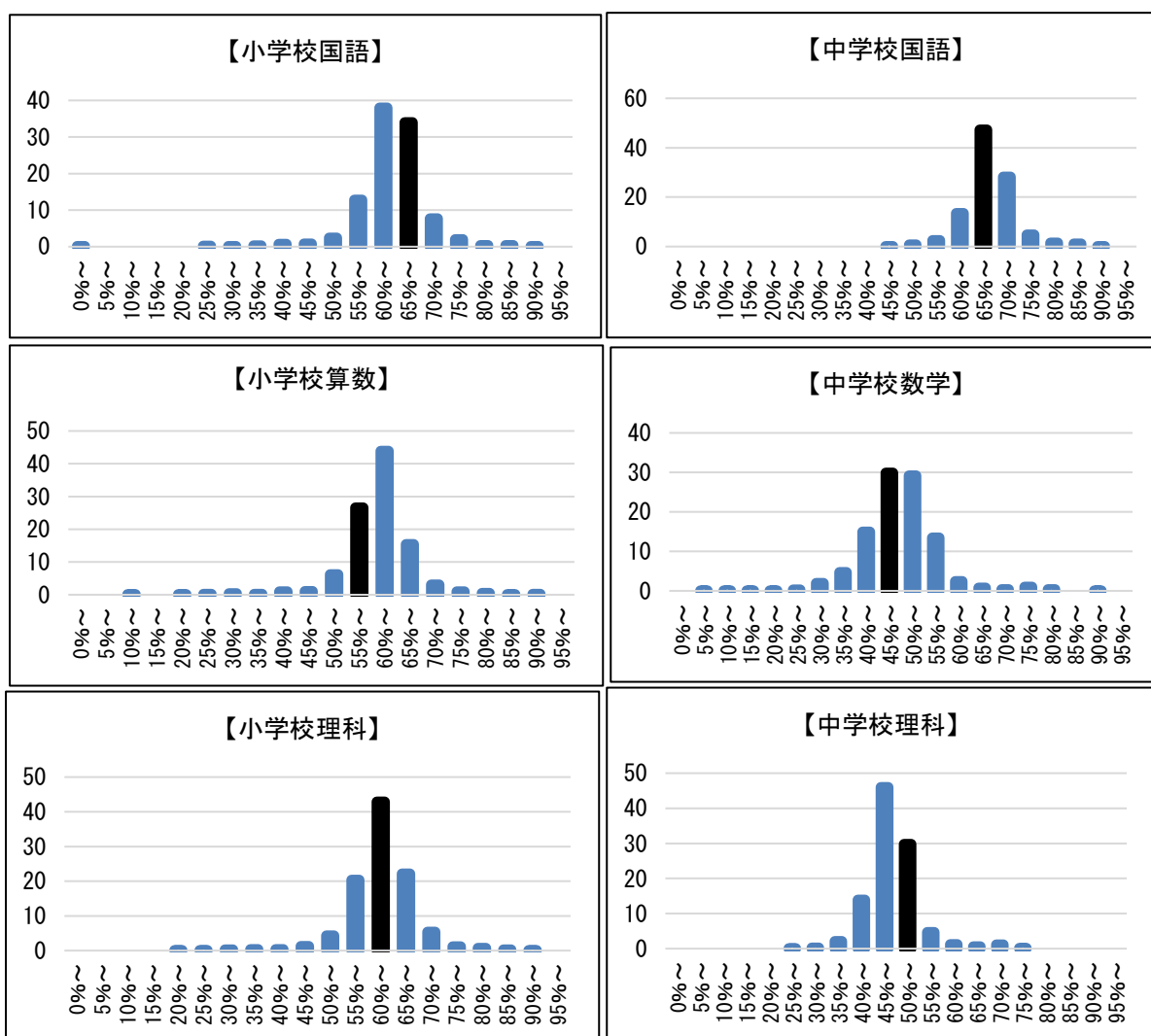
- (1) ICT機器の活用が進んでいる利点を生かし、ICT活用が学力向上に効果的につながっていくよう学校の授業改善を支援する。
- (2) 児童生徒が教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けて理解したり、情報を精査して考えをまとめたり、論理的に思考したりする学習活動を行うよう学校を支援する。
- (3) 教育委員会、学校、家庭、地域が一体となって、児童生徒の学力・学習状況の向上を目指した教育活動を推進する。

4 吉田町の学力に関する調査結果

学年	教科	吉田町	(参考)	全国	差	静岡県	差
小6	国語	65	65.1	65.6	-0.5	66.2	-1.1
	算数	60	59.6	63.2	-3.6	62.6	-3.0
	理科	62	61.8	63.3	-1.5	62.1	-0.3
中3	国語	67	67.3	69.0	-1.7	70.1	-2.8
	数学	50	49.9	51.4	-1.5	53.9	-4.0
	理科	50	50.1	49.3	0.8	51.6	-1.5

(1) 教育委員会の平均正答率分布：吉田町の位置づけ

※参考：国立教育政策研究所 教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」

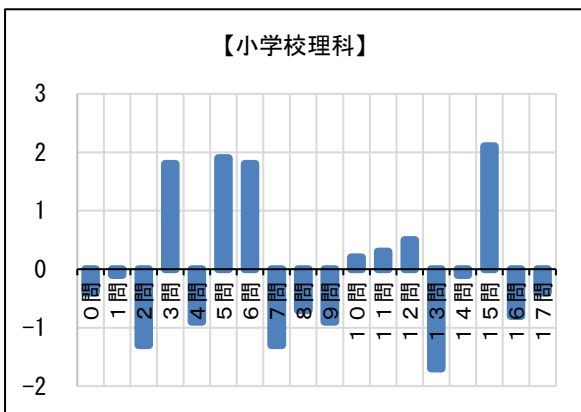
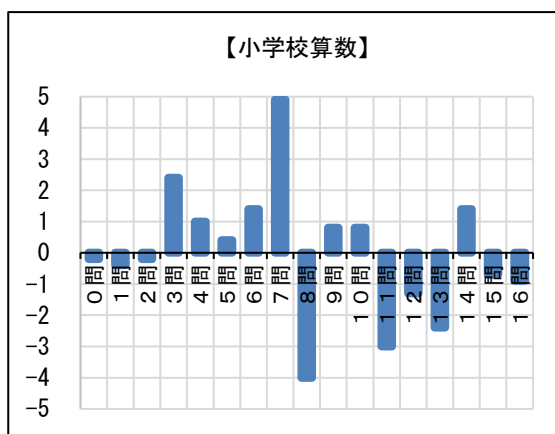
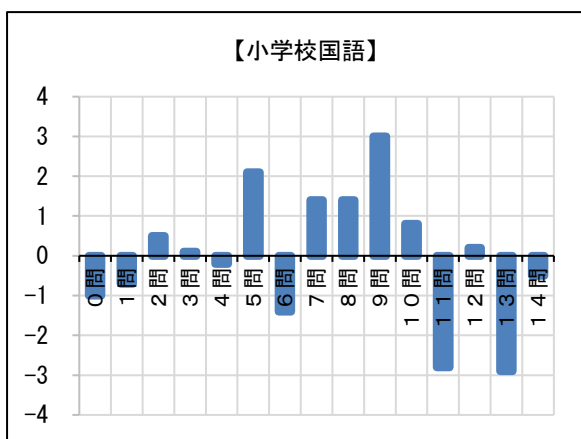


- ・ 吉田町は、小学校国語、中学校理科において、最頻値以上の分布に所属する。
- ・ 吉田町は、小学校理科、中学校国語・数学において、最頻値の中に含まれる。
- ・ 吉田町は、小学校算数において、最頻値以下の分布に所属する。

(2) 正答数の県比較からの学力層の偏りについて

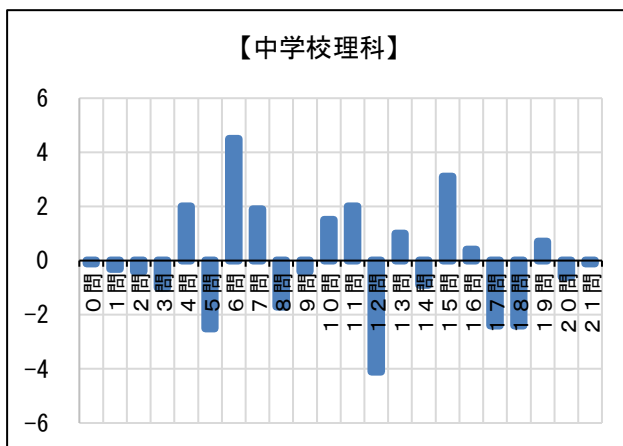
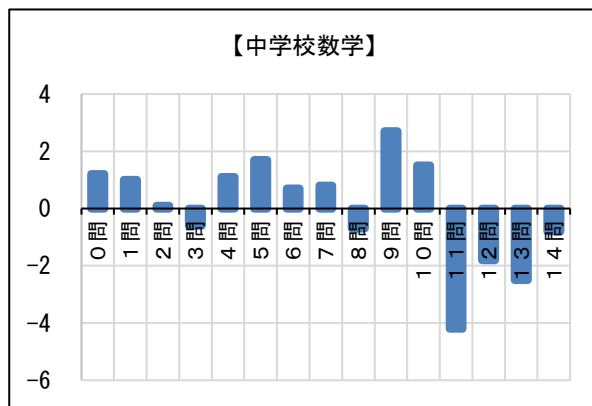
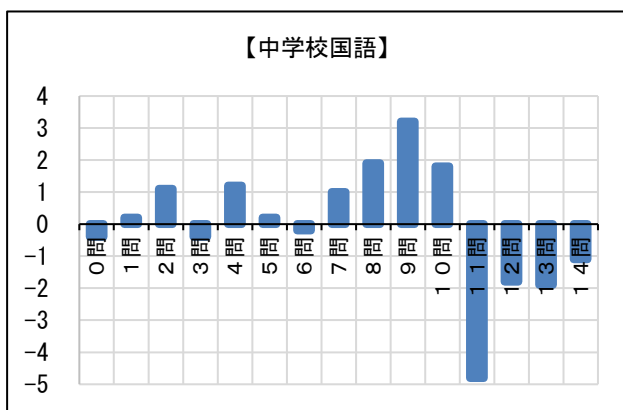
① 小学校

※横軸は正答数、縦軸は正答数ごとの割合の静岡県との差



・3教科ともに、上位層が少なく、中下位層が多い。

② 中学校



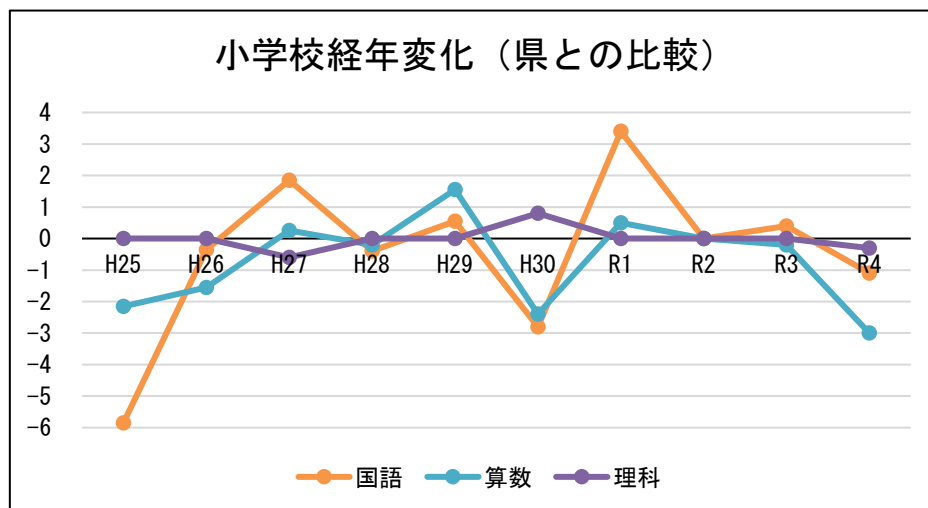
・国語は、上位層が少ない。
 ・数学は、上位層が少なく、最下位層が多い。
 ・理科は、学力層のばらつきが見られる。

(3) 平均正答率の経年比較：県との差 (%)

① 小学校

県比較	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国語	-5.9	-0.3	1.8	-0.4	0.6	-2.8	3.4		0.4	-1.1
算数	-2.2	-1.6	0.3	-0.2	1.6	-2.4	0.5		-0.2	-3.0
理科			-0.6			0.8				-0.3

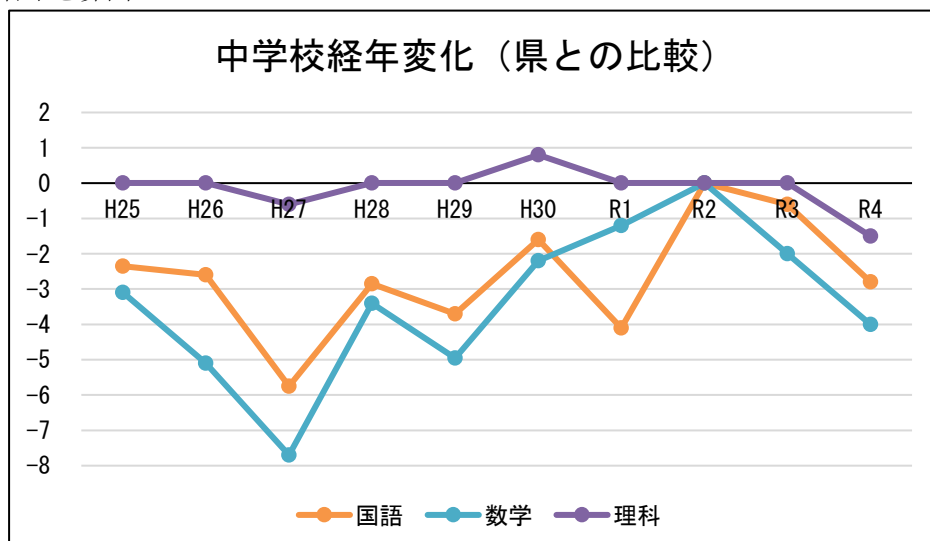
※ 平成 30 年度までの結果は、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B を足して平均を出し「国語」「算数」の平均正答率を算出



② 中学校

県比較	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国語	-2.4	-2.6	-5.8	-2.9	-3.7	-1.6	-4.1		-0.6	-2.8
数学	-3.1	-5.1	-7.7	-3.4	-5.0	-2.2	-1.2		-2.0	-4.0
理科			-0.6			0.8				-1.5

※ 平成 30 年度までの結果は、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B を足して平均を出し「国語」「算数」の平均正答率を算出



5 吉田町の学習状況（学習方法や学習環境等）に関する調査結果

(1) 肯定的な回答が高い事項

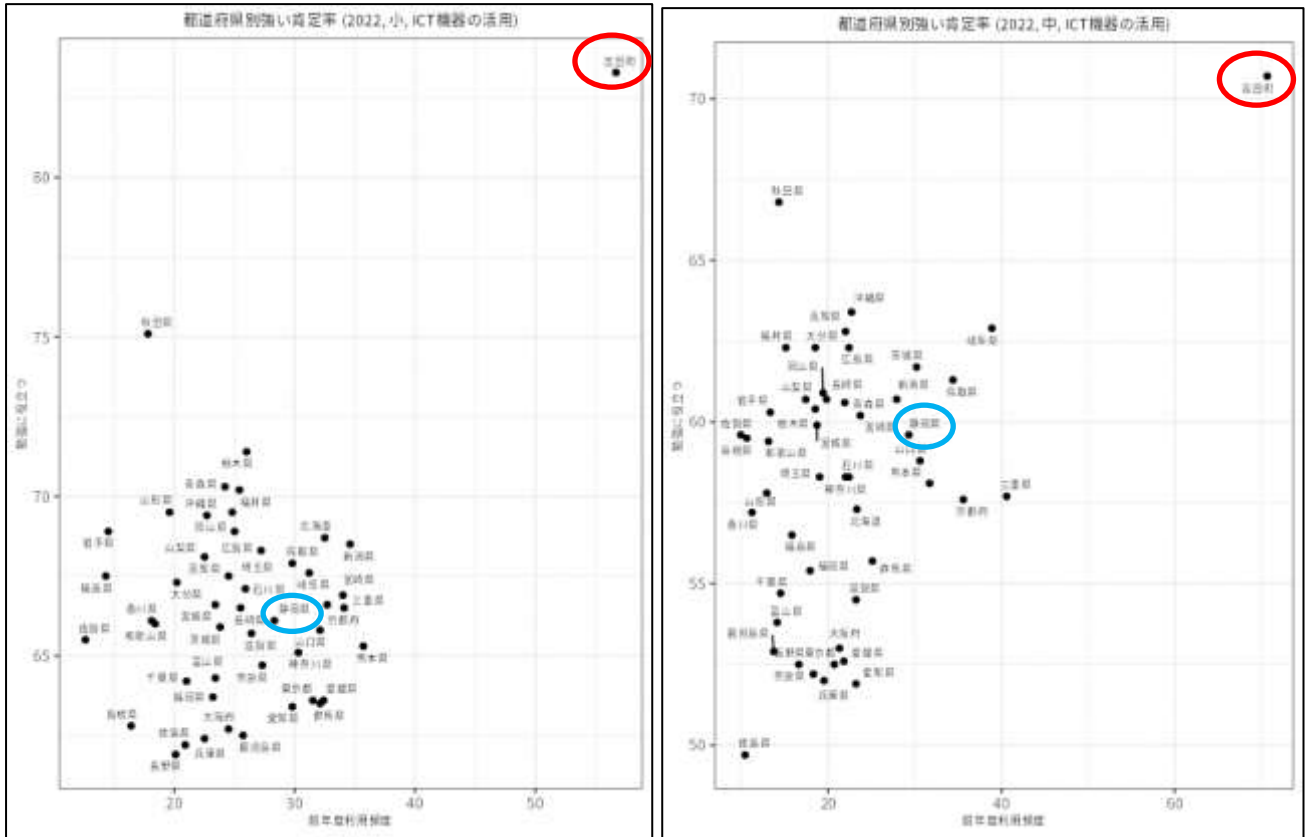
※県や全国と比べて肯定的な回答をした児童生徒数の割合(%)が10%以上(程度)高い項目

	質問項目	校種	県比較	全国比較
1	小学校5年生(中学校1・2年生)のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか		ほぼ毎日	
		小学校	28.4	30.0
		中学校	41.4	49.1
2	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)		ほぼ毎日	
		小学校	20.2	21.0
		中学校	40.5	46.4
3	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか		ほぼ毎日	
		小学校	11.3	11.9
		中学校	33.9	36.3
4	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか		ほぼ毎日	
		小学校	6.9	7.0
		中学校	24.7	26.3
5	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小学校	9.1	18.3
		中学校	12.1	28.1
6	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小学校	13.1	15.6
7	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小学校	12.6	15.0
8	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小学校	11.5	11.6
9	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)	中学校	10.2	9.9
10	1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	中学校	8.4	11.1
11	1,2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	中学校	7.8	9.7

- ・ICTの活用に関しては、一昨年度末から積極的に推進したことにより、小学校・中学校ともに、静岡県・全国に比べて活用が進んでいる。
- ・地域の行事に参加する児童生徒が静岡県・全国に比べて多い。
- ・小学校では、先生との信頼関係が築けており、また、児童の合意形成がされながら、学級づくりがなされていると思う児童が多い。
- ・中学校では、学んだことや自分の考えをもとにし、それを生かしながら活動等を行っていると思う生徒が多い。

(2) 令和3年度に積極的に推進してきた「ICT活用」について

※「小学校5年生(中学校1・2年生)のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、「ほぼ毎日使用」と回答した児童生徒の割合」と「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと回答した児童生徒の割合」(強い肯定)を散布



・吉田町はグラフの右上に位置し、全国と比べて積極的な推進を実施してきた結果が表れている。

(3) 肯定的な回答が低い事項

※県や全国と比べて肯定的な回答をした児童生徒数の割合(%)が10%以上(程度)低い項目

	質問項目	校種	回答項目											
			2時間以上		1時間以上		30分以上		10分以上		10分未満		全くしない	
			県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
1	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小	-2.9	-3.2	-3.2	-3.0	-5.8	-4.8	-1.7	1.8	6.0	6.1	7.7	3.1
		中	-2.7	-2.1	-3.1	-2.8	-7.2	-6.2	-9.8	-8.1	-2.7	-3.2	25.8	22.6
2	読書は好きですか		肯定回答											
			県		全国									
		小	-12.2	-13.1										
	中	-13.5	-12.0											

・読書が好きな児童生徒の割合が静岡県・全国よりも低く、読書時間も少ない。